

NO QUARTER

ノー・クォーター

Words & Music by John Paul Jones, Jimmy Page and Robert Plant

夢幻的な雰囲気が満ちていて、他の曲とは趣きが少々異なるこの曲。そのサウンドの中心となっているのは、J.P.ジョーンズのブレイするエレキ・ピアノだ。彼はこの曲では全編エレピを弾いており、ベース・パートにはシンセが使われている。エレピの左手は、コードのルート音をオクターブで弾き、時折5度の音も経過的に使うというオーソドックスな方法(C*mの場合にはC*音をオクターブで弾き、G*音が経過音的に使われている)が主だ。右手は、コードを押えるといった弾き方ではなく、メロディ・ラインを弾くという方法をとっている。特に囚の右手のラインは、巨からヴォーカルが入ったときのヴォーカル・ラインをなぞるような形になっている。全体的に細かい動きの多いプレイなので、よ

たよたしないで弾けるよう正しいリズムで練習しよう。また他のパートは休んでいて、エレピだけになる部分が多いので、テンポが乱れないように注意したい。ドラムは入ったり休んだりと出入りが多い。人り口のフィル(固前、目前など)はタメ気味に強く叩こう。また图2小節目の3連フィルは、ボンゾの得意とするもので、かっこいいから是非ともまねたいが、あくまでもリズム・キープは忘れずに。回回回直前の小節の2拍目は16分でキックとシンバルを連打するという、いちばん盛り上がるところ。ヴォーカルのリズムとシンクロするので大いにパワフルにきめよう。ギターは特に難しいところはないが、固のコードはあまりなじみがないと思うので左手のフォームをしっかりと確認するように。



































